

## 会 議 録

(6-1)

会議の名称		令和2年度第1回春日部市水道事業運営審議会	
開催日時		令和2年8月5日(水)	開 会 午後2時00分
			閉 会 午後3時05分
開催場所		正風館 2階 視聴覚室	
議長(会長等)氏名		伊澤 秀雄	
出席者	委員氏名	(出席人数：10人) 伊澤 秀雄、笥田 妙子、齋藤 紀代子、須永 昌男、井上 功、 萩原 文男、倉田 実樹、宮島 裕、樋口 佳樹、久保田 満	
	説明者 その他	(出席人数：0人)	
出席者	事務局	(出席人数：9人)	
		水道事業管理者職務代理者水道部長 渡辺 隆之	
		水道部次長兼施設管理課長 関口 久幸	
		業務課長 小澤 毅	
		業務課担当課長兼春日部営業所長 渡辺 博	
		工務課長 神田 俊一	
		業務課庶務経理担当主幹 会田 聡	
		業務課庶務経理担当主査 青木 範昭	
		業務課庶務経理担当主査 江原 宏紀	
		業務課庶務経理担当主任 大橋 真理	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 令和元年度春日部市水道事業会計決算(案)の概要について：公開 2 令和元年度春日部市水道事業の経営状況について：公開 3 新型コロナウイルス感染症対策による水道料金の減額等について：公開	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		1 春日部市水道事業運営審議会委員名簿 2 令和元年度春日部市水道事業会計決算(案)の概要 3 春日部市水道事業 経営分析表 4 新型コロナウイルス感染症対策による水道料金の減額等について	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		齋藤 紀代子委員、井上 功委員が署名する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	《開会》
会長	《会長挨拶》
水道事業管理者職務代理者	《水道事業管理者職務代理者挨拶》
事務局	議長につきましては、春日部市水道事業運営審議会条例第5条第2項により、伊澤会長にお願いいたします。
議長	(1) 「令和元年度春日部市水道事業決算（案）の概要について」事務局から説明をお願いします。
事務局	配布資料「令和元年度春日部市水道事業決算（案）の概要」説明。
議長	ただいまの事務局の説明に対し、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
委員	未収納者に対する収納率はどのくらいですか。
事務局	納付期限内に水道料金を納めていただけない水道料金の収納対策をしており、3年間での収納率は99.9%となっています。
委員	実際の調定の件数について教えてください。
事務局	資料にある107,325戸の給水戸数は、春日部市の給水区域内の世帯数であり実際に契約している給水栓戸数ではありません。
委員	実際の給水栓契約数はどのくらいになりますか。
事務局	令和元年度決算で106,708栓、前年度決算では105,466栓で、1,242栓増加しています。
委員	年間配水量及び年間有収水量が、30年度に比べ減少しているのは何故ですか。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>給水人口の減少や少子高齢化などの社会現象の変化に伴う使用水量の減少により、配水量、有収水量が減少したものと考えています。</p> <p>また、昨年度においては日照量の減少や降雨状況などの天候条件も、影響しているものと考えています。</p>
委員	<p>未収金対策の取り組みについて教えてください。</p>
事務局	<p>納付期限内に水道料金を納めていただけない方には督促状を郵送します。月平均で5,000通です。</p> <p>督促状を出しても納めていただけない方の中で、3調定分滞納及び1万円以上滞納の方には給水停止予告書を送り、それでも納めていただけない方には、給水停止を行っています。このような取り組みを3年間続けた結果、99.9%の収納率となっています。</p>
委員	<p>水道料金の収納率は他税と比較してどうですか。</p>
事務局	<p>市税などに比べると高い収納率になっています。</p>
委員	<p>督促状の郵送代はかかっていますか。</p>
事務局	<p>郵送代はかかります。水道料金は市税と違って、滞納しても追加料金等は取っていません。</p>
委員	<p>今後の浄水場などの設備計画についてお考えをお願いします。</p>
事務局	<p>平成29年度に策定をした、春日部市新水道ビジョン経営戦略において経営状況を勘案し、各浄水場の施設や設備機器等において老朽化したものを、順次改修を実施していくというところでございます。</p> <p>特に、電気設備及び監視系設備など、耐用年数が20年と比較的短く、電気設備故障による波及事故防止、及び安定した水道水の供給を確保する為に、必要性の高いものから優先的に更新していきます。</p>
議長	<p>ほかによろしいでしょうか。</p> <p>「ない」とのことですので、次の議題に入ります。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	(2) 「令和元年度春日部市水道事業の経営状況について」事務局から説明をお願いします。
事務局	配布資料「令和元年度春日部市水道事業の経営状況」説明。
議長	ただいまの事務局の説明に対し、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。
委員	管路経年劣化抑制の数値目標やそれに対する工程表などありますか。
事務局	<p>管路更新の目標値がございまして、300ミリ以上の口径の更新率は令和5年度までに40%となっています。現在の更新率は37.6%です。</p> <p>それ以外の配水枝管については、分母が881kmありまして、これを法定耐用年数40年で計算していくと、単純に2.5%ずつ更新していかないと40年で更新が行えません。2.5%を長さに換算すると、毎年22kmの更新をしていかないと追いつかないのが現状です。水道事業経営の中で、管路の更新工事に回せる予算の中から、単年度に多くの工事費を投入したからといって、これだけの長い距離を一気に工事を行うのは現実的には難しく、まず昨年度から工事を早く進めるためのDB方式という、設計と施工を一括発注することによって工期を短縮し、少しでも施工が行えるよう取り組んでいます。</p> <p>他市も春日部市も管の法定耐用年数が過ぎたからといって直ぐに漏水などが起こることは無く、漏水や腐食は地域性や土質などの色々な条件もありますので、それらのことを調査したうえで目標値を整理し、平準化しながら今後の水道に関する計画や見直しなどにおいては更新率の在り方も変えていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、輻輳管を1本にすることなども更新速度を上げていく方法であるため、そういった点も着眼し、計画を立てていきたいと思っています。</p>
委員	管の更新工事に際しては、また同じ耐用年数のものを使用しているのですか。
事務局	耐用年数80年のものや、耐震性のあるもの、腐食等に強いものなどを採用しております。

発 言 者	
議長	<p>ほかによろしいでしょうか。</p> <p>「ない」とのことですので、次の議題に入ります。</p>
議長	<p>(3) 「新型コロナウイルス感染症対策による水道料金の減額等について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>配布資料「新型コロナウイルス感染症対策による水道料金の減額等」説明。</p>
委員	<p>コロナウイルス感染症対策の一つとして、水道メーターの満期の交換猶予等を行っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>計量法で8年の期間がありますが、春日部市では7年で交換を行っています。対策の一つとしての水道メーターの交換猶予は行っていません。</p>
委員	<p>他市でも水道料金の減額は行っているのですか。</p>
事務局	<p>減額を行っている市もございます。春日部市では、市の一般会計から補助金として水道事業会計に繰り入れることによる減額を行っていますが、他では（水道事業会計の）自己資金のみで減額を行っているところもあると把握しています。</p>
委員	<p>コロナウイルス感染症の流行は収まる気配がないが、今後も水道料金の減額は続けていくのですか。</p>
事務局	<p>今回の減額等については、春日部市としての判断で行っており、水道事業者としての判断ではないので、今後については経済状況や国からの補助状況などを踏まえた中で判断していくものと考えております。</p>
議長	<p>よろしければ以上をもちまして、質疑を終了させていただきます。</p> <p>なお、令和元年度春日部市水道事業会計決算につきましては、9月の定例議会に提案することになります。</p>
議長	<p>ほかによろしいでしょうか。</p> <p>「ない」とのことですので、次の議題に入ります。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	続きまして議題（４）その他に入りますが、事務局から何かございますか。
事務局	特にありません。
議長	それでは、これにて議長の役を降ろさせていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。進行を事務局にお返しします。  長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。 それでは、閉会にあたりまして、倉田副会長よりご挨拶をお願いいたします。
副会長	《閉会あいさつ》
事務局	ありがとうございました。以上で閉会とさせていただきます。

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和2年 8月28日

署名者の職・氏名

委員

齋藤 紀代子

委員

井上 功